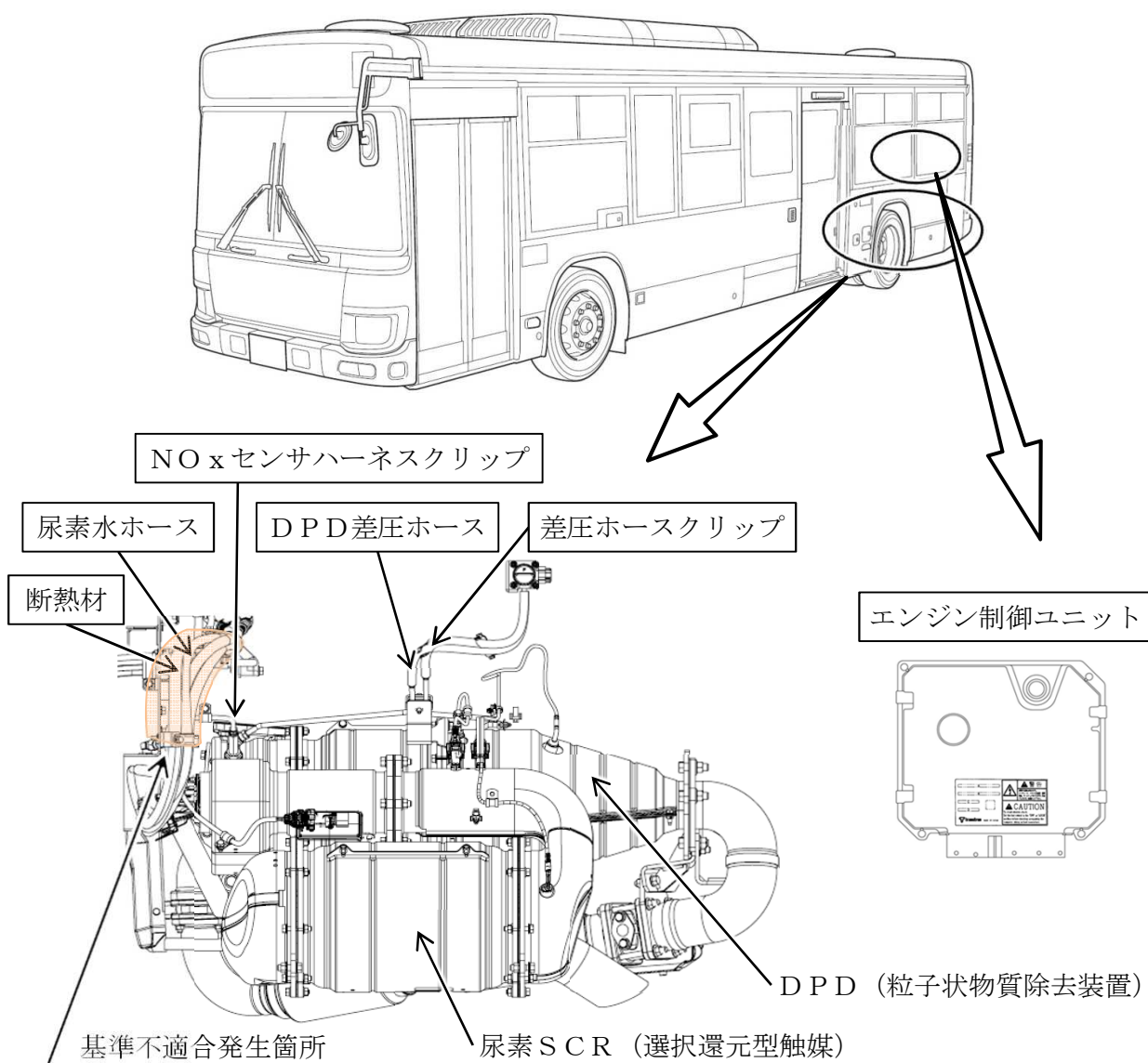


## 改善箇所説明図②



バスの排出ガス発散防止装置において、DPD (粒子状物質除去装置) 再生時のエンジン制御プログラムが不適切なため、DPD再生用燃料の一部がDPDの下流で燃焼し、尿素SCR (選択還元型触媒) 付近の排出ガス温度が高温となることがある。そのため、その放射熱により尿素水ホース等が溶損して尿素水が漏れ、排出ガス中の窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>) の排出値が基準値を超えるおそれがある。

### 改善の内容 ;

全車両、エンジン制御プログラムを対策プログラムに書き換える。また、尿素水ホースに断熱材を追加し、差圧ホース、クリップを対策品に交換する。なお、尿素水ホースを点検し、溶損している場合は修復または新品に交換する。

識別 : 運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレート付近に識別シール (黄色) を貼付する。

注 :  は、措置する部品を示す。